
タイトル 使用サンプル(ワード版スタイル)

An example of use for MLSE.docx

徳川 家康¹ 源 頼朝²

あらまし これはMLSEワークショップのワード版スタイルの使用サンプルです。
本フォーマットはソフトウェア工学の基礎研究会の許可を得て、FOSE2017
ワード版スタイルを再利用しています。

1 MLSEワークショップの目的

近年の機械学習,あるいは深層学習(ディープラーニング)の発展に伴って,機械学習を利用するシステムは急速に社会に浸透しつつある。しかしその一方で,従来型のITシステムに用いられてきた様々なソフトウェア工学的手法は,機械学習を組み込んだシステム(機械学習システム)の前に全くと言っていいほど通用しなくなっている。機械学習システムの開発・テスト・運用の方法論は未だに確立できておらず,開発現場ではエンジニア達が試行錯誤で凌いでいるのが状況にある。このような現状を踏まえ,機械学習システムに対しては「機械学習工学」ともいうべき,新たなパラダイムの確立・体系化が必要であり,その議論のために本ワークショップを開催する。

2 ワークショップ開催概要

MLSE夏合宿2021[1]は,以下の要領で開催予定です。

日程 2020年7月1日(木) - 3日(土)

場所 オンライン

主催 日本ソフトウェア科学会 機械学習工学研究会

3 書式に関して

3.1 ヘッダとフッタ

カバーページを除く奇数ページのヘッダには英語論文タイトルが自動で挿入されます。英語論文タイトルが変更されると自動でヘッダも変更されます。また,タイトルが長い場合は省略可能です。偶数ページのヘッダには「第3回機械学習工学研究会(MLSE夏合宿2020)」が来ます。フッタには何も記入しないように設定してください。

3.2 句読点と箇条書き

句読点は,英文に合わせて`,`,"と`". "とします。

箇条書きは以下の要領とします。

- 項目1
- 項目2
 - 項目2-1
 - 項目2-2

箇条書き(項番付き)

1. 項目1
 - (a) 項目1-1

¹ Ieyasu Tokugawa, 江戸幕府

² Minamotono Yoritomo, 鎌倉幕府

(b) 項目1-2

3.3 表と図

表の例を表1に, 図の例を図2に示します. 表組みは, 一番上の罫線を太くして, 両端に縦の罫線を入れないものを標準スタイルとします.

表1 表の例

MLSE2018	機械学習工学ワークショップ 2018	吉岡 信和, 守田 憲司 編
MLSE2019	機械学習工学ワークショップ 2019	編集担当 編
MLSE2020	機械学習工学ワークショップ 2020	編集担当 編



図1 図の例(JSSSTのロゴを使わせてもらっております)

謝辞

FOSEのフォーマットの利用の許可を頂いたソフトウェア工学の基礎研究会に感謝します.

参考文献

- [1] 竹内 広宜, 今井 健男 編: 日本ソフトウェア科学会 第3回機械学習工学研究会, 2019. (to appear)